

平成二十九年 度		第二学年 特選		国語力調査	
教科	総合学習	担当	高瀬	組	番
実施日	月 日	氏名			
得点					

問1  
ア  
あ い ま い  
イ  
延 命  
ウ  
認 識  
エ  
つ ち か  
オ  
粉 飾

2点×5

問2  
a  
エ  
b  
イ  
c  
ア  
d  
ウ  
問3  
昼  
も  
夜  
も  
な  
い  
地  
獄

2点×4

4点

問4  
x  
老 人  
y  
祖 父

2点×2

問5  
面倒を見てくれていた健斗と離れることに寂しさを感じつつも、  
就職が決まり新たな旅立ちを迎える健斗に、  
自分よりも健斗自身の生活に集中して励んでほしい、という想い。  
…3点  
…3点  
…3点

問6  
精神も肉体も衰えゆく祖父を、今は身体的に健康だが将来の身体に不安を感じ毎日筋トレをする生活の28歳の健斗が介護をし、世代間での価値観の違いの滑稽さや難しさを描くことで、  
(5点)  
人間自体や、人の価値観自体は時代により変わっていき、前の時代で常識だったものが次の時代には非常識となるように破壊と再構築を繰り返すことを伝える。(5点)  
話の最後には、最初介護をしていた側である健斗が、実は逆に祖父の存在に励まされていたことに気づかせ、「老人≡非生産的存在」「若者≡生産的存在」という固定観念が破壊され再構築される。(5点)  
「先が見えない時代や閉塞感の中でも必死で生き続けていくことの大切さ」という、  
価値観の再構築が狙い。